

藤本周二 ― アネーラ税理士法人代表社員

会社を伸ばすにはチャレンジ。現状維持は衰退への道

私は多くの経営者と接する機会があります。伸びている会社、伸びがもう一つの会社といろいろあります。伸びがもう一つの会社には必ず原因があります。

第一に経営者が多くを望んでいない。現状維持を基礎としている。経営者自身が多くを望んでいない。現状維持を基礎としていなければ、会社の社風も多くを望まなくなり、働いている従業員も現状維持を基本とすれば、チャレンジする必要性をあまり感じずに前年比でマイナスにならないならば良いという事になります。

第二に業績が現状維持であれば、コストは基本上昇していきま

すのでいずれは苦しくなります。いい人材の確保も苦しくなりま

す。そもそも、成長している会社

が二割あるとしたら、良い人材はそこ

に集まる可能性が高いでしょう。そうすると伸びている会社には

いい人材が集まりさらに伸びていく可能性が高く、現状維持の会社は衰退していき

ます。よく、前年と同じことをしていけば安定する

という考えがありますが、衰退リスクが高まるという事が正しいと思

います。現状維持は、リスクである事を認識されていないと衰退していきま

か？この人を見透かす感覚は伸びている経営者がよく持たれている

感覚です。つまり、いろいろな観点から深く考えているために、浅

い経営者の話を見透かすのです。要するに、伸びている経営者はレ

ベルが高い、もしくは日々高くなっているという事です。

第二にチャレンジしている。チャレンジすると成功確率は深く考

えている経営者でも一割程度ではないでしょうか。しかし、一割成

功すれば一〇〇倍の成果が出ると仮定すると、九割失敗でも十分会

社は伸びるという事になります。これがチャレンジ精神だと思いま

す。よく、失敗を指摘する方がいますが問題はチャレンジをし続けているのか、成功するまでチャレンジしながらでもチャレンジしているかが重要です。チャレンジして失敗した人は、次は恐るべしかもしれません。そのような社風が必要です。この社風は経営者の資質であり、ま

た、サラリーマン生活が長い方には無理な資質です。

第三に具体的には仕組化です。誰でもできる体制にできれば人間

リスクが減ります。そのために、管理体制はできるだけ誰でもできる体制にして憂いを少なくするこ

とが重要です。紙面が尽きました。経営者のあなたはどうでしょうか。経営者のあなたはお考えでしょうか。

経営徒然草

藤本周二

藤本 周二 (ふじもと・しゅうじ)

公認会計士・税理士

平成10年12月、藤本公認会計士事務所を設立し所長就任。平成21年8月、エスペランサ税理士法人設立、理事長就任。令和1年11月、アネーラ税理士法人に改称。

思う事：至誠天に通ず きれいに生きていく

福岡市中央区大名2-6-50
福岡大名ガーデンシティ10F
TEL092-741-6316
<https://anera.or.jp/>